

失われた12年を取り戻す 市政の抜本改革を！



政策市民会議国分寺 木村 徳

問＝前市政時代にも、職員の意識改革を求めてきたが全く実現しなかった。新市長として、今後の意識改革をどのように行っていくのか。

市長＝職員個々の能力を120%引き出せる組織作り、そして縦割りではなく、何のために仕事をするのか自覚をできるように変えていく。

問＝では、それがこれまでできていなかった理由はどのように考えるか。

市長＝仕事において達成したことに対する評価の問題。そして、問題に対し組織としての責任を負う体制の不足である。

問＝同感である。例えば課長が答弁に窮している時、市長・副市長は黙っている。フォローしても特定の部下のみで、耳には痛くとも適切な意見を述べる職員は遠ざけていた。

市長＝正当な評価を受けることは重要なことだ。まずいことは指摘し、成果は評価する。今後はそうした市政を心がけていきたい。

問＝職員が仕事に責任と自覚を現状持てない象徴として、名札がある。職員の名札は部署の一切記載もなく、職員名も名字のみだ。

市長＝私の感覚では民間は部署とフルネームは入っている。改善を図っていきたい。

問＝情報公開・情報共有に関し、これまでは議会や市民に情報を隠すような状況が見られた。個人情報等の例外を除けば、原則全て公開であるにもかかわらず、こちらが予め調べて発言したことを、「情報を漏らしたのは誰だ！」と犯人捜しを始める幹部職員がおり、本末転倒だ。

市長＝そういう事態が生じないように私がしっかりと管理していく。

問＝以前より、いじめ虐待防止条例制定を求めてきた。市として対策を速やかに講じるべきだ。

市長＝いじめ問題は待ったなしだ。今年度中に検討を終え、来年3月をめどに条例提案する。

問＝新市長として現在、新副市長候補たり得る人材がいると考えているか。

市長＝複数いる。

問＝井澤カラーを鮮明にし、それを推進していく補佐役は誰が適任か、市長の英断を望む。

決意と覚悟を持って 行政改革断行を！



無党派（みんなの党） おざわ 脩

●覚悟を持って国分寺市の行政改革を

尾澤) 所信表明で謳われている「役所機能のスリム化」を進める具体的な施策はあるのか？

市長) 市民の側から見てわかりやすい組織への再編を基本にめり張りを付けた人員投入、及び役所機能の民間委託も考えていく。

尾澤) 役所の窓口業務も民間委託を考えるべき。

●子どもをいじめや虐待から守るために

尾澤) 市長の掲げている「子どもを守る」という事は（仮称）いじめ虐待防止条例があれば守れるのではなく、現場での実行力のある政策が伴って初めて意味を成すものである。

●情報公開と情報共有を求める

尾澤) 更なる情報公開と情報共有を推進するにあたって具体的な施策はあるのか？

市長) 議会への透明性の確保、市民には市報等で財政状況の説明頻度を増やし掲載する。

尾澤) 市民・議会に対して本市は隠蔽体質であると言わざるを得ない状態だった。新市長の下、信頼回復のために速やかな改革を強く求める。

就任早々次の市長選で 庁舎建設問うと驚発言



無党派（無所属） 甲斐 よしと

所信表明で「災害時の拠点となる市役所庁舎の建設の検討を始めていくことにより、市民の皆さんの生命や財産を守ってまいります」また市長就任式にも「第一に市民の生命を守るために災害の拠点となる市庁舎の建設を進めたい。災害時の動脈としての道路を進めたい」と言うが、市民の生命を守ることが庁舎・道路建設なのか。古い体質のまま。北口再開発は115億返済済。北口に新規福祉も我慢させられ焼却場の共同建設もある。就任早々次の市長選なんて不謹慎だ。

真に市民に信頼される 市政の再建を求める



無党派（社民党） 釜我 健二

釜我＝前市長は任期中に不適切な行政執行等で25回処分を受けた。新市長にはこの負の行政を断ち、市民に信頼される市政の再建を求める。

市長＝仕事の仕方と分析している。職員と一丸となって、仕事の仕方の改善を図りやってくる。

釜我＝①星野市長は公民館事業費を50%も削減したが見直すべきだ。②公民館使用料は有料化ありきでなく、無料制の維持を含めて検討を。

市長＝①教育委とよく協議し検討する。②改めて再検討する。来年に向けてしっかり精査する。

市政を 問

平成25年第3回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています

新市長の政治姿勢と 組織改革他について



自民党新政クラブ 須崎 宏

問 新市長の政治姿勢と組織改革他について

市長 両副市長教育長を含め意思の疎通を常に頻繁に行い市内全体の組織としてまとめていく。観光行政については担当課を置き積極的に全国にアピール出来るような市をつくらせていきたい。

問 史跡公園整備について

①農地の追加指定と東山道の調査について

部長 第2次国分寺跡保存管理計画で史跡の追加指定について基本的な考え方を示している。東山道について地主さんの協力を得て今年度中に道路構造と史跡としての内容を確認する予定。

②文化財について

部長 来年度から5年間かけて調査し、歴史上芸術上の価値など判断し、市の重要文化財として指定を図って保護を進めていく。

問 市内観光について

観光馬車運行と保育園跡地の有効利用について

副市長 条件的に非常に魅力ある場所と関係者

も申しており、馬車の運行について協議に入る。

問 ぶんバスについて

万葉ルートの決定と料金について

市長 専任担当者を設けて指示を早速に出して3ルートの実施に向けてしっかり進めていく。料金については近隣市との比較もあり、調査もしっかりした上で全体的な計画の中で考える。

問 野川及び3・4・11号線について進捗状況は

部長 野川に関し東京都と市の具体的な役割等

協議し事業化のスケジュールの検討をしている。さらにまちづくりなどの部分を調整して進める。

部長 3・4・11号線について第3次事業計画で定められており、住民意向を把握し基本調査を今年度来年度にかけて住民懇談会を実施する予定。

問 災害対策について防災井戸の増設を

部長 長期総合計画の後期基本計画の中で位置づけがあり、それに基づいて今後検討していく。

請願・陳情を提出する方へ

陳情の取扱いが変更されました

6月1日より、委員会で審査される陳情の取扱いを次のように変更しました。

「提出者及び署名者等の合計が10名未満の陳情は、委員会審査は行わず、全議員に配布して陳情の要望内容を伝える」こととなります。

また、平成25年第4回定例会から審査を希望する方は、11月7日(木)までに議会事務局へ提出してください。

※詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

調査担当 (内581)

委員会と会派について

市議補欠選挙で当選した2名の議員が所属する委員会と会派が下記のとおり決まりました。

委員会

尾作義明	建設環境委員会 国分寺駅周辺整備特別委員会
村松俊武	文教子ども委員会 ごみ対策特別委員会

会派

尾作義明	自民党新政クラブ
村松俊武	無党派・生き活き

庶務担当 (内467)